

告示	番号	37	先天性代謝異常
	疾病名	家族性複合型高脂質血症	

家族性複合型高脂質血症

かそくせいふくごうがたこうしつけっしょう

概念・定義

家族性複合型高脂血症（FCHL）は、血中総コレステロール（TC）とTGの両方が高値となる疾患で、常染色体優性遺伝形式とされているが複数の遺伝子異常がかかわっている。若年での心筋梗塞の発症が報告されており、65歳以下の心筋梗塞患者の基礎疾患として30%を占めるとされる1、2）。

症状

高脂血症は思春期以降に出現することが多い。LDL-Cの上昇は家族性高コレステロール血症より比較的軽度である。IIb型高脂血症を基盤とするが、IIa型やIV型を呈する時がある。通常、小児期には症状はない。

治療

食事療法・運動療法による生活習慣の改善が基本となる。定期的な全身状態のチェックが必要である。

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/8_12_131.html